



# 担い手通信



JA bank Mix

Topic

今月の話題

## 飛散小石時速130キロ 刈り払い機事故注意 自動車ガラス砕く 保護具装着を

国民生活センター

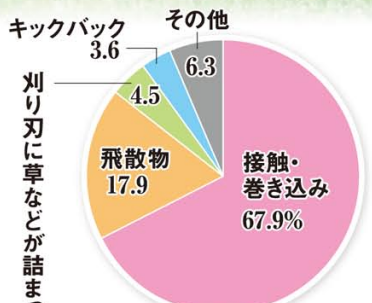
**国** 民生生活センターは、稼働中の刈り払い機の刃に接触した小石が、最大時速130キロで飛散するという試験結果を発表し、農家などに注意を呼び掛けています。飛散した小石は10メートル離れた自動車側面の窓ガラスを砕く威力があることも分かりました。国民生活センターは「草刈り時は、小石など異物が飛ぶことを前提に、注意してほしい」とし、保護メガネなどの保護具の着用を勧めています。

国民生活センターは、排気量33・5ccの大型刈り払い機に、ホームセンターで売っている刈り刃各種(金属製の4枚刃と8枚刃、チップソー、ナイロンコードカッター)を装着。作動させて、地面に置いた2、3センチの小石にぶつけました。

飛散した小石の威力が最も高かったのは、4枚刃。最大時速約130キロで、67・8メートル先まで飛びました。10



刈り払い機による事故の原因別割合



※消費者庁の資料を基に作成

落ちました。金属製の8枚刃では時速76キロで30・2センチ、ナイロンコードでは、同48キロで16・9センチの結果。チップソーは、小石が刃の間に入らず飛散しませんでした。消費者庁には2017年6月までの8年間で、刈り払い機の作業中に、指を切断、骨折したなど140件の事故情報が寄せられています。刈り払い機でコンクリート片が飛散して目に入り、視力低下

### 数字でみえる 三重県の農と食

138.7

県内の農と食に関する統計データを用い、農業の現状を数字から読み解きます。

### 乳用牛 1戸当たり飼養頭数

農林水産省の「畜産統計(平成29年2月1日現在)(東海3県)」によると、2017年の1戸当たりの乳用牛の飼養頭数は三重県で138.7頭と、愛知県の79.0頭、岐阜県の47.5頭を大きく上回り全国1位です。16年と比べると愛知県、岐阜県では1戸当たりの頭数はほぼ変わりませんが、三重県では大規模経営体の増頭により5.8頭増加しました。

下につながった事故や、針金が胸に突き刺さって心臓まで達したケースもあります。被害者の半数が60歳以上です。国民生活センターは、市販の小石飛散防止用ネットの使用や、作業場所に小石などの異物がないか確認し、除去するよう呼び掛けています。



このコーナーは、三重県農業研究所の「研究成果情報」に基づき制作し、県内に広く研究成果を紹介しています。

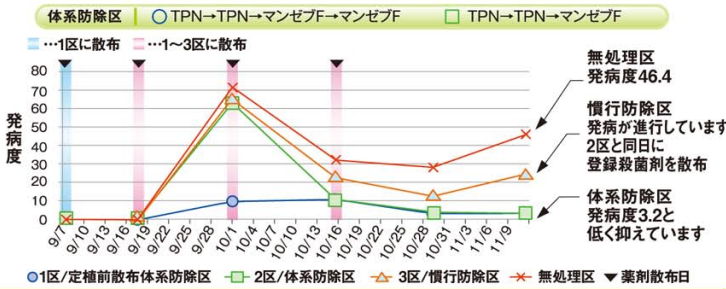
## トマトすすかび病発生を抑制 殺菌剤を使用した防除体系技術を確立

**ト**マトすすかび病への予防効果が高い殺菌剤のTPN水和剤、マンゼーフ水和剤を定植直後から10月までの重要防除期に使用する防除体系を三重県農業研究所が確立しました。葉かび病に抵抗性のあるトマト品種が普及したこと、同病を対象とした殺菌剤散布が減少したこと、似た病徴

のトマトすすかび病が多発し問題となっていました。トマトすすかび病は前作で発病株率が高いと、伝染源がハウス内に残っているため、定植直後から感染します。また28℃で発病と伝染が盛んになるため、定植直後から10月までが、殺菌剤による効果的な防除時期になります。防除には、TPN水和剤およびマンゼーフ水和剤が優れています。実験では2剤を使用した防除体系は、慣行防除体系に比べて防除効果が高く、発病が低くなりました。

同研究所では、トマトすすかび病が前作で多発した場合は、定植前または、定植直後のTPN水和剤の散布が有効としています。

トマトすすかび病の発病度の推移



お問い合わせ先 三重県農業研究所 農産物安全安心研究課 ☎0598-42-6360

### JAみえきた

## GPSTラクター導入 作業省力化に期待

JAみえきた組合員で、三重県菰野町の芝田農産の芝田文和さんは今年度から、衛星利用測位システム(GPS)自動操舵(そうだ)補助システム機能搭載のトラクターを導入した。6月下旬から7月24日にかけて、20畝で大豆を播種(はしゅ)した。GPSを利用するトラクターの導入は、同地区では珍しい。文和さんは「初めての導入で慣れないこともあったが、端から端まで無駄なく真っすぐに播種作業ができる。次回の田植え作業もこのシステムを利用したい」と話し、今後の作業省力化に期待する。

(2017/7/27 ワイド2東海)

### JA鈴鹿

## 米検査へ向け技能確認研修

JA鈴鹿は8月上旬、鈴鹿市の本店で農産物検査員技能確認研修を開いた。8月中旬から始まる米検査で厳正な検査を行うため、検査員資格を持つ職員37人を対象に実施した。当日は2016年産米のサンプルを用意した。水稻うるち玄米25種類と水稻もち玄米5種類を、被害粒や未熟粒、着色粒の含有割合などで判断。1等、2等、3等、等外の4種類で格付けした。営農指導課の大井弘人課長は「管内では、梅雨明け以降、連日高い気温が続いている。未熟粒など高温障害の発生も懸念されるため、厳正な検査を実施していく」と話した。

(2017/8/11 ワイド2東海)

### JA津安芸

## 育てた野菜を対面販売

JA津安芸の野菜栽培講座「ふれあい農業塾」の受講生が7月30日、ファーマーズマーケットみどりの交差点で、自分たちで育てた野菜を初めて対面販売した。有志の受講生13人が参加。直売所の活性化と、受講生の産直部会へのステップアップを目的に、同JAが同直売所の7月感謝セールに合わせて企画した。受講生は、前日にナス、ピーマン、トマト、キュウリなどの夏野菜を袋詰めし、当日にバーコードを貼って品出しをした。

(2017/8/5 県版三重)

## 農業を営む すべての方に

今ならJAバンク利子補給制度により、お借入から当初3年間は最大年1%の利子補給が受けられます。

# 農業経営資金

すべての農業者の  
実りある未来をサポートします。

- トラクターなど農業用機械の購入資金
- 栽培用ハウス・畜舎など農業用施設の建設資金
- その他農業経営に必要な資金



詳しくは、お近くのJAバンク窓口までお問い合わせください。  
<http://www.jamie.or.jp/jabanking/agri/>

平成29年8月現在



### 《金利情報》平成29年8月21日現在

#### 農業近代化資金

実質金利  
年0%~0.30%  
(固定金利)

※認定農業者の方は、市町や(公財)農林水産長期金融協会の利子補給等により、お借入ができます。

#### スーパーS資金

年1.5%  
(変動金利)